

ほつとタイム 悩み 共感できる場に

校庭や校舎からコーヒーの香りが漂い、入れたてを後輩や保護者と一緒に楽しむ。定時制・通信制の杜陵高の生徒が盛岡市の校舎で、カフェ活動に力を入れている。

全国の定時制高校で居場所づくりとして校内カフェが増えており、同高でも昨年に活動が始まった。他校ではNPO法人などが支援するケースが多いが、生徒た



16日にあった運動会でコーヒーを入れる生徒＝盛岡市

盛岡・杜陵高でカフェ活動

ちは自ら近所の喫茶店主に話を聞いたり、インターネットで調べたりしてコーヒーの入れ方を学んだ。

本年度は入学式や運動会に合わせて、カフェを開いている。盛岡市の本校の水野花梨さん(17)は「新入生に声をかけるきっかけになった」と手応えを語り、岩手県奥州市の奥州校の小山愛生さん(19)は「カフェで学校を盛り上げたい」と意気込む。

三田正巳校長は「カフェを通じて生徒同士が協力し合い、悩みを共感できる場になればいい」と願う。コーヒーは秋の100周年式典でも提供する予定。コーヒーの入れ方も上達しており、杜陵高名物になりつつある。

(盛岡総局・横川琴実)